

平成24年第1回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
3月6日(火)	午後	1	中 島 清 一 議員
		2	小 林 由 明 議員
		3	樋 浦 恵 美 議員
7日(水)	午前	4	本 多 了 一 議員
		5	大 原 伊 一 議員
	午後	6	渡 邊 雄 三 議員
		7	中 島 義 和 議員
		8	齋 藤 信 行 議員
8日(木)	午前	9	塙 豊 議員
		10	山 崎 雅 男 議員
	午後	11	渡 邊 広 宣 議員
		12	長 井 由 喜 雄 議員
		13	齋 藤 紀 美 江 議員
9日(金)	午前	14	夕 ナ カ ・ キ ン 議員
		15	阿 部 健 二 議員
	午後	16	丸 山 吉 朗 議員
		17	土 田 昇 議員

平成24年第1回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p><u>1. 市長の政治姿勢について</u></p> <p>(1) 子どもたちが夢と誇りを持てる「日本一輝いているまち燕市」を目指し市長に就任され、まもなく2年になる。2年間で振り返り、後半戦に向けた市長の考えや決意を伺いたい。</p> <p>(2) 本市における最優先課題は行財政改革と思うが認識はいかがか。</p> <p>(3) 厳しい財政状況の中で市長が新年度予算に盛り込んだ目玉政策について伺いたい。</p> <p>(4) 賛否両論があるが、在宅介護手当の見直しについて市長の最終決断は。</p> <p>(5) 子育て支援としての医療費助成拡充の考えは。</p> <p><u>2. 雪害対策について</u></p> <p>今冬は大雪となり一斉除雪の回数は15回（2月23日現在）を数え、合併以降最多となった。問題や課題もあったかと思うが、来冬に向けての対策について伺いたい。</p> <p>(1) 県内では亡くなられた方やけがをされた方、家屋の倒壊など今冬での被害が報道されている。本市における被害状況はどうか。</p> <p>(2) 消雪パイプや除雪の仕方など苦情や要望が多く寄せられたことと思われる。件数や内容について伺いたい。</p> <p><u>3. 自主防災組織率の向上について</u></p> <p>現在、本市においては111の自主防災組織が設置され、組織率は61.6%となっている。県内での組織率は75.1%（2011年4月1日現在）で、県内市町村の中でも低い方に位置している。組織率の向上が急務と考えるが対策は。組織化が進まない要因は何か。</p> <p><u>4. 環境政策について</u></p> <p>環境にやさしい燕市の構築が求められているが、2012年度予算にはどのように盛り込まれたのか。</p> <p>(1) 太陽光発電など再生可能エネルギーの取り組みは。</p> <p>(2) ごみ減量化に向けての施策は。</p> <p><u>5. 放射性汚泥の保管場所について</u></p> <p>福島第一原発事故の影響の中で、放射性物質を含む汚泥の処理問題がある。汚泥の集中保管場所として、旧巻町の東北電力巻原発跡地を候補地の一つとしている。市民の中には本市に近いことから心配の声が寄せられているが市長の考えを伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	中 島 清 一	<p>6. 教育施策について</p> <p>(1) 児童・生徒に対する防災教育について 釜石の奇跡、石巻の悲劇と言われているように東日本大震災で発生した大津波の対応では生死の明暗が分かれた。本市における児童・生徒の防災教育については極めて重要な課題と考える。徹底した指導を求めたいが市の考えを伺いたい。</p> <p>(2) 中学校での武道の必修化 新年度からは中学校の体育で柔道や剣道など「武道」が必修化される。体育の授業ではどこまでどう教えたらいのか明確な線引きは示されていない。保護者からは生徒の安全確保が懸念されている。また、指導経験のない教諭は戸惑っているという。万全な安全対策が求められているが市としての対応や考えは。</p> <p>(3) キャリア教育推進に向けて 小中学校段階から勤労観・職業観の育成のため、キャリア教育の推進が課題になっている。将来への目標を持つことの大切さが指摘されているが、本市の考えや取り組みについて伺う。</p>
2	小 林 由 明	<p>1. 観光について</p> <p>(1) 「観光とまちづくり」に対する基本的な考えを伺いたい。</p> <p>(2) 観光資源となり得る新たな名物づくりや、名物の掘り起こしの考えはあるか。</p> <p>(3) 「燕の工場めぐりをするとロボットができる」という、産業観光の新たな取り組みは考えられないか。</p> <p>2. 市内の商店街について</p> <p>(1) 市内既存の商店街について、その役割や価値など、基本的な考えを伺いたい。また、今後の商店街の在り方をどのように考えているか伺いたい。</p> <p>(2) 観光と商店街活性化を結びつけた取り組みについて、お考えがあれば伺いたい。</p> <p>(3) 商店街やその周辺地域への、新規出店を促進する方策はないか。</p> <p>(4) 県内に2カ所しかない全蓋式アーケードの一つが燕市にあるが、それを活用したまちおこしのイベントは考えられないか。</p> <p>3. 道徳教育について</p> <p>(1) 道徳教育に対する基本的な考えを伺いたい。</p> <p>(2) 地域社会の伝統・文化が、個々の道徳意識醸成にどのような影響を及ぼすと考えるか。</p> <p>(3) 小中学校での道徳教育の取り組みについて伺いたい。</p> <p>(4) 社会教育での道徳教育の取り組みについて伺いたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	樋 浦 恵 美	<p>1. 防災対策について</p> <p>(1) 昨年3月11日に発生した東日本大震災から、まもなく1年が経過しようとしています。東日本大震災では、避難所で女性が着替える場所が無いなど、既存の防災対策に「女性の視点」が欠落している実態が浮き彫りになりました。</p> <p>地域の助け合い・支え合いの中核を担う女性の力を生かす取り組みを推進していくことが必要になってくると思います。そこで、地方防災会議に女性委員を登用し、女性の意見を反映できるようお願いしたいと思います。考えをお伺いします。</p> <p>(2) 災害時の避難所運営を図面上で模擬体験できるHUG（ハグ、H＝避難所、U＝運営、G＝ゲーム）避難所ゲームがあります。いざというときに効果的な避難所運営ができるよう、日ごろから訓練を重ねておくことが大切だと思います。市民の方がHUG（ハグ）を体験できる環境づくりを提案したいと思います。考えをお伺いします。</p> <p>2. 肺炎球菌ワクチンについて</p> <p>がんや心疾患、脳血管疾患に次いで、日本人の死因の上位を占める肺炎。この病気で年間11万人を超す高齢者が亡くなっていると言われてはいますが、その予防には成人用の肺炎球菌ワクチンの接種が有効とされています。</p> <p>燕市においては、新潟県後期高齢者医療広域連合の被保険者で、燕市内に住所のある方を対象として、肺炎球菌の予防接種を受けられた方に対し費用の一部を助成していますが、今後、助成対象者の拡充を検討していくことも必要であると思いますが、考えをお伺いします。</p> <p>3. デマンド交通システムについて</p> <p>燕市地域公共交通会議において、平成25年度からの新地域公共交通システムの基本方針案として、デマンド乗合タクシーと循環バスを運行する複合型プランが示されました。</p> <p>予約センターについてはこれからの協議で、また、8月から10月にかけて住民説明会を開催するとのことですが、現段階では具体的にどこまで検討されているのかお伺いします。</p>
4	本 多 了 一	<p>1. 地場産業対策について</p> <p>(1) 燕市は中小企業振興条例を制定しているが、その条例の精神をどう施策に生かすか。</p> <p>(2) 中小企業振興条例の市の施策に、中小企業に関する調査及び情報の収集という項があるが、この調査を市はどうダイナミックにすすめようと考えているか。</p> <p>(3) そのうえで全市的な企業の実態調査を思いきってやったらどうか。</p> <p>(4) 産業政策をすすめる上で、役所内のマンパワーの育成についてどうすすめるか。</p> <p>(5) 庁内に地場産業対策のプロジェクトチームを設置したらどうか。</p> <p>(6) 4人以下の零細業者、また建設業者にどう光を当てるか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
4	本 多 了 一	<p><u>2. 農政問題について</u></p> <p>(1) TPPに対応して経営規模を20ヘクタール、30ヘクタールにする方策は燕市の農業にとって現実的に可能か。</p> <p>(2) 兼業農家が全体として農業を支えている現実の中で、農地の流動化は進まないでいる。部長は農地の流動化を進めるという立場に立っているが、なぜそう考えるのか。流動化が進まない原因をどう考えているのか。</p> <p>(3) 農業政策の基本は農業をやりたい人が農業で生きられる生活費を賄う米価の補償政策こそ求めるべきでないか。</p> <p>(4) 燕市の農業の中での6次産業化は可能か。</p> <p><u>3. 人間ドックの助成の増額を求める</u></p> <p>病気の早期発見に人間ドックの受診が極めて有効だと思うが、市の助成は現在総経費の50%である。これをもとの70%に引き上げることを求めるがいかがか。</p>
5	大 原 伊 一	<p><u>1. 救命救急センターの進捗状況について</u></p> <p>(1) 救命救急センターの早急な設立が望まれる状況であるが現在の進捗状況・5市町村で話し合われている内容はどこまで進んでいるのか。</p> <p>(2) 5市町村の首長の皆さんは、県央地区の救急業務の実態、特に燕・弥彦総合事務組合における救急業務の実情を共有できているのか。</p> <p>(3) 5市町村の首長による公開フォーラムを開催し、多くの市民から理解していただく機会を設けてはいかがか。</p> <p><u>2. 中長期財政見通しが発表されたが更なる行財政改革の必要性について</u></p> <p>(1) 公の施設の統廃合のスピード感が足りない。少子化の影響を踏まえた幼保の見直しと平行して、義務教育の小中学校の在り方を検討する必要があると思うがいかがか。</p> <p>(2) 教育長として、小学校の適正規模として想定される小・中学校の各学年のクラス数は何クラスが適当であるとお考えか。</p> <p>(3) 今後も新庁舎建設や幼稚園・保育園の統合により公の施設が空いていくが、耐震補強までして無償貸与を進めていくのか。</p> <p>(4) 燕地区の地域総合型スポーツクラブへ出した補助金の性質について、大半が人件費と思われるが、それが妥当なのか。同じく設立した吉田地区も同じ人件費としての補助金なのか。</p> <p><u>3. 本市における義務教育の2学期制と3学期制について</u></p> <p>(1) 吉田地区で行われている2学期制と、他の地区で行われている3学期制との比較について学力の差が生じていないのか。</p> <p>(2) 全国的には、2学期制に移行したものの良い結果が出ていないということで3学期制に戻りつつあるが、本市の義務教育の在り方として2学期制が優れている結果があるのであれば全市で2学期制に統一すべきでないのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	渡 邊 雄 三	<p>1. 新庁舎周辺整備について</p> <p>(1) 新庁舎建設基本計画によれば、新庁舎を核とした官公庁施設、および当該地域の高い交通の利便性を活かした郊外型商業地域、国道 116 号の西側住宅地をはじめとした近隣住民の需要に対応した店舗の誘導を図るための近隣商業地域のゾーニングを行い、それら地区計画や用途地域の指定に基づく規制誘導策により、不適切な施設を排除しながら、一体的かつ計画的な市街地の形成を図るものとする。</p> <p>①官公庁施設とあるがどこに、どのような施設の何をいうのか。</p> <p>②市街地の形成を図るとあるが、具体的にはどのような施設か。</p> <p>(2) 市内各地からの交通の利便性を考慮し、前面道路となる市道吉田 602 号線をはじめ、周辺道路をどのように整備していくのか。そこでお聞きします。</p> <p>①国道 116 号は今でも時間帯によっては渋滞する。新庁舎、警察署ができれば緊急車両等、今よりも数倍車両の台数が増加すると思うが、どのような対応を考えているのか。</p> <p>2. 緊急医療情報キットについて</p> <p>(1) 昨年 6 月定例会の一般質問で提案したことが当局の素早い対応によって今年 2 月に該当高齢者に配布されました。持病を抱えている高齢者、一人暮らしの高齢者にとって安心・安全に大きく寄与することであると、私もうれしく思っています。</p> <p>① 65 歳以上と提案したがなぜ 70 歳以上になったのか。</p> <p>② 高齢者の医療情報記入とともに、記入情報が変わったときはどのようにするのか。</p> <p>③ これまでは社会福祉協議会の安心カードがあったが効果はあまりなかった。今後は情報キットの使用効果が出るように、各組織と連携を取りながら配慮をお願いしたいがいかがですか。</p> <p>3. 若者自立支援について</p> <p>(1) 近年、雇用環境全体が著しく悪化する中で、人とのかかわりが上手くできず、仕事も長続きせず、そのことが原因で引きこもりやニートといった、働きたくても働くことのできない若者、夢や希望を見失い社会に居場所がなく支援を必要とする若者が増えている。燕市は平成 22 年 10 月に三条市サポートステーションより出張無料相談室を開設しています。</p> <p>① 相談室を開設してから今日までの相談件数、および実績。</p> <p>② 今後、燕市も相談員と共に常設のサポートステーションが必要と思うがいかがか。</p>
7	中 島 義 和	<p>1. TPP、農業問題について</p> <p>(1) TPPでの農業問題の展開によっては、減反政策そのものが立ち行かなくなる危険は。</p> <p>(2) 燕市における、農産物の輸出状況は。</p> <p>(3) 農工商連携のもと、中国への市場調査に農業団体の同行は。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	中 島 義 和	<p><u>2. 24年度ものづくり活性化支援事業について</u></p> <p>(1) 成長産業参入支援事業 (2) 新商品新技術開発支援事業 (3) 産地産業グローバル展開支援事業 (4) 定住促進・まちなか支援事業</p> <p><u>3. 海外市場調査について</u></p> <p>(1) 中国でのメイドインツバメブランドの商標登録は。 (2) 成都、瀋陽での市場調査は。 (3) 市長は市場調査団に同行した職員の報告を受けての感想は。 (4) 今後の商工会議所との中国での市場調査予定は。</p>
8	齋 藤 信 行	<p><u>1. 中学校における武道の必修化について</u></p> <p>(1) 武道経験の乏しい体育教師が教えることに問題があると思うがいかがか。 (2) 柔道経験のある外部指導者を招くことは考えられないか。</p> <p><u>2. 現庁舎利活用について</u></p> <p>(1) 分水消防署の改築に伴い、防災拠点としての役割をどのように考えられるか。 (2) 燕庁舎、吉田庁舎の利活用方針について伺う。 (3) 新庁舎に向けて組織機構の見直しをどのように考えるか伺う。</p> <p><u>3. 市のセールスマンとして市長の役割は</u></p> <p>(1) 市長就任1年目に市のセールスマンとして訪中したが、その後の実績等はどうか。 (2) ヤクルトスワローズとの連携事業などを通し燕市をセールスしているが、今後の抱負を伺う。</p>
9	埜 豊	<p><u>1. 財政問題について</u></p> <p>合併特例債の活用事業も最終局面を迎え、その総括と今後の事業債の償還について。現在の地方交付税が実質的に交付税と臨時財政対策債との2本立てになっており、市債残高の膨張と今後の経常収支について。</p> <p><u>2. 第5期介護計画でのショートステイベッドを削減して特養待機者の解消につなげることについて</u></p> <p><u>3. 工業統計調査から見えてくるもの</u></p> <p>平成21年に4,000億円を割り込み、22年統計ではさらに低下が続く燕市の産業をどのように考えるのか。担税能力と雇用の確保を含めて聞きたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	山 崎 雅 男	<p>1. 救急医療体制の整備について</p> <p>(1) 救急患者は救急車を要請し、収容先の病院までの時間、距離が市内・市外では救急患者の負担が大幅に違う。当然、生命・後遺症に関わる問題が発生する確率が高くなる。緊急性のある傷病者を一刻でも早く医療機関に収容し、しかるべき医師の措置を受けさせるのが救急業務の役割。救急業務を通して救急患者の収容病院について、市内、県央医療圏内病院で賄えるのか。そして捉え方について伺う。</p> <p>(2) 今後、市民が安心できる 24 時間体制、365 日の医療体制を構築するための抜本的な対策を整える必要が急務で、救命救急センター設置等救急医療体制の整備が待たれている。直近の動向と今後の取り組み方向性について伺う。</p> <p>2. 税金等滞納対策と税収確保について</p> <p>(1) ①平成 22 年度市税の収入済み額は、前年度対比 5 億 751 万 2,023 円の減少で 4.8%減。調定に対する収納率は 94%で前年度対比 0.3 ポイント低下。不能欠損額は 6,035 万 6,276 円。収入未済額は 5 億 9,391 万 9,902 円。 直近の市民税・固定資産税や国保税・介護保険料等の滞納状況と具体的対応策及び実施状況について伺う。</p> <p>②現状の納税義務者に対する滞納件数の割合と市税課税分に占める滞納額の割合と滞納額はどうか伺う。</p> <p>③悪質滞納・常習滞納・高額滞納者等の滞納対策と高額滞納者や通常の滞納者と異なる累積滞納者数・滞納額はどうか。また、滞納額縮減に向けた取り組み内容について伺う。</p> <p>(2) 学校給食費未納問題の背景には、経済状況悪化と保護者のモラル低下が最大の要因だと考えられるが、給食費未納世帯数・未納金額と具体的な未納理由は何か。また、徴収体制や滞納整理の手法・取り組み内容を伺う。</p> <p>3. 着地型観光の推進について</p> <p>(1) ニューツーリズム（体験型・交流型旅行）の推進と体制の充実について</p> <p>①燕市の観光の方向性と経済効果について伺う。</p> <p>②ニューツーリズムの現状認識と課題について伺う。</p> <p>③燕市は国内外を相手とした産業のまちで、ものづくりのまちでもある。その中で外国人旅行者の実態と増加策に向けた考えと対応策について伺う。</p> <p>④観光を通じたまちづくりの考えと実践に向けた取り組みを伺う。（分水おいらん道中等々）</p> <p>⑤着地型観光で地元雇用や産業創出し、第 6 次産業化する具体的施策は考えられないか。</p> <p>⑥任期付き職員採用制度により、観光の専門知識とネットワークを持った人材を民間から登用したが具体的に今年度どのような取り組みを行い観光振興に努め、その成果はどうか。</p> <p>(2) J R 越後線新潟・白山～吉田間を開業してから今年で 100 周年。燕市と JR が連携して記念祝賀行事を吉田駅構内・駅前広場でイベントを行い、より多くの皆さんから参加して頂いた中で、産業・観光等を P R することはできないものか。また、上越新幹線開業 30 周年記念事業の計画はあるか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	渡 邊 広 宣	<p>1. 都市政策について 超少子高齢社会、人口減少時代に入り、すべての社会生活・構造が大きな変革期を迎えている。燕市も合併当初より約2,000人の人口減であるが、その一方で世帯数は微増傾向にある。その増加はD I Dではなく、その周辺部・新興住宅地である。コンパクトシティにより一層真剣に取り組むべきと考えるが市長の考えは。(具体的数値としてD I D面積・人口・人口比率、その地区とその他地区の除雪距離と費用、空き家数、総合的な土木費の合併時と直近の数字を伺う。)</p> <p>2. 福祉政策について 在宅介護手当の見直しが新年度予算で提出される。見直しに当たって昨年、市長はこれに代わる他の施策を講じると答えたが、その具体的な政策と、見直しを行うにも所得制限を設けるべきと考えるが、あわせて伺う。また、介護保険料も大幅に増額されるが、緩和策として保険料率の多段階は図れないのか伺う。</p> <p>3. 部長目標宣言について 今年度、各部局が取り組む施策について、目標宣言を行っている。その達成度と評価は。また、それを新年度予算、施策に反映されているか伺う。</p>
1 2	長 井 由 喜 雄	<p>1. 「患者力」をつけるということについて</p> <p>(1) 県央地域医療シンポジウムから明らかになったこと 1月29日に「県央地域医療シンポジウム」が開かれた。この中で救命救急センター構想が進む魚沼地域の状況を含んだ記念講演と、パネルディスカッションでは燕市医師会長はじめ、県央地域の2次病院の先生方から切実な現状が報告された。市はこのシンポジウムから、「課題点」をどう整理されたか。</p> <p>(2) 市民が地域医療を考え、「患者力」をつけるために 県央地域医療シンポジウムのシンポジウムで訴えられた「時間外診療をできるだけ控えてほしい」「救急車をタクシー代わりにしないで」との病院現場からの声に対しては何らかの対応を考えなければならないと思う。魚沼地域では医師が住民の中に積極的に入り込んで声を伝え合う「出前講座・ナイトスクール」の紹介もあったが、地域の医療を考えていく上で、開業医、病院、勤務医、薬局、行政、患者となる市民それぞれが現状と本音を語り合い、伝え合う作業の中から大事な課題や方向性が見えてくるのではないか。そのためにも行政のリーダーシップが求められているのだと考えるが、医療関係者との連携も取りながら連続講座などを開くことを考えてほしい。</p> <p>現在一般的に「患者力」というと、患者がより良い医療機関や医師を見きわめていくこととの考えが強いようだが、私はそれらに加えて医療の現状について知識を持ち、患者の立場で地域医療問題に考えを及ぼせる力を持つことも「患者力」に入ると考える。</p> <p>健康づくり、福祉、保険年金など関係性が高いと思われるそれぞれの立場からの意見はいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 2	長 井 由 喜 雄	<p>2. インフルエンザ罹患情報などのありかたについて</p> <p>(1) インフルエンザ情報はどの部署が把握しどう活かされていくのか</p> <p>燕市役所内ではインフルエンザの感染情報をどの部署が把握し、その情報をどう活かしていくのか。平成21年に流行した「新型インフルエンザ(A/H1N1)」の時には5月に市長が本部長となる「新型インフルエンザ対策本部」が設置され、その後22年7月に健康福祉部長を本部長とする「新型インフルエンザ警戒本部」に移行した。</p> <p>今年度の市のインフルエンザ情報は学校教育課からの「学級閉鎖のおしらせ」がホームページ上で紹介されているのみだ。新型が出た時には対策本部が設置され、警戒体制を取ることは実証済みだが、そうでないときにはどう臨んでいくのか。</p> <p>2月22日に新潟県は定点あたりの患者報告数が基準値の30を超えたとして、「インフルエンザ警報」を出した。県が「警報」を出した場合、市はどういう対応策を取っていくことになるのか。</p> <p>(2) 特に人が多く集まる場所についての情報共有と注意喚起について</p> <p>今年度の市のインフルエンザ情報は学校教育課からの「学級閉鎖のお知らせ」がホームページ上で紹介されているのみだ。2月22日現在では燕東小学校ひとクラスの学級閉鎖情報がお知らせとして載っている。この情報の前には同じく小学校4校の学級閉鎖のお知らせが載っていたが現在のものと入れ替わっている。</p> <p>子どもが日常的に集まる場としては小中学校のほかに保育園、幼稚園、児童館、児童クラブ、なかまの会などがある。また県立高校、中等教育学校などもある。これらの施設においても罹患状況の把握、そして情報の公開が必要だと考えるが、これまでの状況はどうであったか。またこれからはどうされるか。</p> <p>言うまでもなく、インフルエンザの拡大は人を介してであり、人が多く集まる場ほど拡大が懸念される。生涯学習の場やスーパーマーケット、そして市役所庁舎も同様だ。</p> <p>情報を細かくお知らせすることは拡大を防ぐことにもつながるし、医療給付費の拡大を防ぐ効果も持つのではないか。</p> <p>これらへの対応について市はどう考えるか。</p> <p>3. 道路維持費などの予算措置について</p> <p>生活基盤となる道路維持について</p> <p>合併から6年が経過した中で、新設道路などはおおかたのめども立ち、今後は「道路維持」に更にシフトした形で予算付けが必要となるが、その点の考えについてはいかがか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	齋藤紀美江	<p>1. 防災対策について</p> <p>(1) 新年度防災課を設置されて防災に取り組む姿勢を強化されたことは評価できること。地域防災計画の見直しについては、原発事故への対応が求められていくことになった。福島原発事故では情報が届かず、避難するのに時間がかかったり、安定ヨウ素剤を飲むタイミングが失われてしまった。今回、東京電力と協定を結ばれて情報の迅速な提供が約束された。放射性物質への対応についてはどのように考えているのか。地域防災計画にどのように盛り込む考えか。避難訓練の想定は。</p> <p>(2) 防災講演会がリサーチコアで実施された。アンケートがとられたが、どういう結果が出たのか。自治会への参加要請はされたのか。</p> <p>(3) 講演会では安城市の中学生への防災意識を高めようとする取り組みの紹介がなされていた。東日本大震災でも避難所運営などで中高生が活躍をしていた。将来の地域づくりやまちづくりの担い手として、共助の精神を培いふるさとへの思いを高めたり、肯定感を持つことにつながる取り組みに思えたがどうか。</p> <p>2. 観光と公園づくりについて</p> <p>(1) 燕市は産業観光に力を入れてきているが、旅行に出かけるときに何を求めているのか。綺麗な景色であったり、花々を見たり、温泉に入ったり、美味しいものを食べたり、楽しいイベントがあったりする所に行くのではないかと思う。人を呼ぶのにターゲットをどこに置くのかによっても違ってくると思うがどうか。さくら公園はおいらん道中の駐車場として、または、付属のものとしてしか考えられていないように思うがどうか。せっかくお金を使って造られたもの。もう少し公園自体で特色のある取り組みが必要ではないか。</p> <p>(2) 産業観光はなかなか花が開かない。これはむずかしい問題だと思う。産業史料館にやっと休憩場所と販売スペースが設けられるということで少しは期待している。雰囲気作りが大事になると思う。職員の対応もしっかりする必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) せっかくおいらん道中等観光に来ていただいてもお金を落としてもらえなければどうにもならない。おみやげ物の開発も必要と思うがどうか。1品300円から1,500円程度がおみやげを買う範囲と聞いたことがある。</p> <p>3. 中高年の出会いの場の設置について</p> <p>(1) 近年、結婚しない、また、できない若者が増えていることは常々言われているが、中高年もまた、出会いを求めていることが言われている。</p> <p>私の身近にもそういう人たちがいる。核家族化が進んで伴侶を亡くされたあとに一人で寂しく暮らす人で、新たな伴侶を求めたいと思っている人たちもいる。若い人たちの出会いの場は設定されることが多いが、中高年の出会いの場はなかなか設定されにくい。が、潜在的な要望はあるのではないかと思っているがどうか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 3	齋藤紀美江	<p>4. 保育施設や学校の小規模改修の取組みについて</p> <p>(1) 学校施設等の大規模改修は、おおむねめどがついてきているが、小規模な改修の計画はどのように考えているのか。たとえば小池中学校の職員用トイレ改修。統廃合予定に入っていない老朽化している保育園。もとの色をとどめていない外壁や穴の開いた壁、ささくれだっている床などとても、小さい子を預かっている施設とは思えない状況は承知をされていると思うがどうか。</p> <p>5. 職員の研修について</p> <p>(1) 民間事業者へ職員を派遣したり、研修の充実を図ったりしているようだが、公務員の皆さんはとかく「井の中の蛙」と揶揄されがち。これからの自治体職員は国際的な視野やネットワークを持ち、新たな政策提言ができるような人材が求められているのではないか。</p> <p>国や県が派遣している国際交流事業に職員を派遣することは考えられないか。費用の負担は極めて少なく、期間も15日間から52日間まで多くのメニューがある。</p>
1 4	タナカ・キン	<p>1. 私道消雪パイプ電気料金について</p> <p>平成18年度の合併後、消雪パイプの電気料金は全て市が負担することになった。結果、私道消雪パイプの電気料金は平成18年度分から市が支払ってきた。今年に入り、消雪パイプのことで相談を受けた市民は、自分たちの私道消雪パイプの電気料金をいまだに支払っているとの話であった。市との話し合いの結果、今年の2月分からの電気料金を市が負担することになったのだが、何かスッキリしないのである。</p> <p>(1) 普通なら、この市民は平成18年度の電気料金分から払わなくて済んだはずである。今まで払ってきた電気料金を市が返金するということは考えられないものか。</p> <p>(2) このようなことがなぜ起こったのか。他にこのようなことは無いといえるか。</p> <p>2. 中学校の武道必修化について</p> <p>今春から、中学校の保健体育で1・2年生は男女とも武道が必修になった。</p> <p>(1) 武道必修化の目的は何か。</p> <p>(2) 今までは、どのような授業が行なわれてきたか。必修化にあたりどんな種目があり、市内の中学校では何を選択するのか。また、年間の授業時間はどれくらい予定しているのか。</p> <p>(3) 指導できる教員の確保や安全性については十分検討されているか。</p> <p>3. 産業史料館の再生について</p> <p>新年度、観光振興策として、産業史料館入館者増加対策事業が挙げられているが、具体的な内容をお聞きしたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>4. 在宅介護手当の見直しについて</p> <p>(1) 4月から要支援1から要介護2までの在宅介護手当が支給されなくなる。経済的弱者については利用者負担軽減事業があるとのことだが、周知はどのようにされてきたか。また、これまでに市民から市に対して寄せられた意見があったらお聞きしたい。</p> <p>(2) 12月定例会での同質問では、さらなる軽減策については現在検討中との答弁であった。新年度予算までに制度設計するとのことであったがどうなったか。</p> <p>5. 燕市すこやか赤ちゃん誕生祝い金等支給条例について</p> <p>この条例は、第3子を例にあげれば誕生祝い金として、生まれたときに20万円を支給。子育て支援金として小学校入学時に20万円。中学校入学時に20万円。高校入学時に40万円を支給するものである。</p> <p>(1) 平成18年度に生まれた児童が、平成25年には小学校へ入学する。そのときから子育て支援金が支給されるが、その支援金支給予定額は。そして、平成何年度まで続くのか。また、その総額についてお聞きしたい。</p> <p>(2) 条例では対象者を平成22年12月31日以前に出生した児童に限るとなっている。これは、通称遅生まれといい、これでは平成22年度に生まれた児童が小学校へ入学する際、遅生まれの児童には子育て支援金として20万円が支給されるが、早生まれの児童には支給されないのである。中学、高校入学時も同じように支給されない。</p> <p>①この22年度生まれで、対象者である児童数と対象外になる児童数は。</p> <p>(3) 少子化対策を考えると全体の出生数が重要である。この10年間の全体の出生状況はどうなのか。この制度は少子化対策にどれほど有効であったと考えるか。</p>
15	阿部健二	<p>1. いつになったら特養待ちがなくなるか見当がつかない燕市の高齢者福祉について</p> <p>このたび市から示された平成24年度から26年度にかけての『燕市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（案）』は、何回読んでも難解である。</p> <p>ちなみに、たまたま前回行政視察をした千葉県君津市の同計画の素案をインターネットで覗いてみたが、君津市の計画書が、まず、総人口が減るなか高齢者数が増加し、高齢者の単独世帯が増加していること、それによって要介護認定者が増加し、介護給付費と保険料が増加することを簡潔に述べ、ゆえに『第5期介護保険事業計画』が必要だとばかりに“計画の基本方針”を展開し“高齢者を取り巻く現状”“介護サービスの充実”などと続くのである。</p> <p>それに比して燕市の計画書は、論旨の展開順序が自然でない上、余計に感じられる資料が「あれも、これも」と詰め込まれ、いよいよ難解にしているように思われる。</p> <p>何よりも大きな違いは、君津市の第5期計画書には、特養の入所者数を平成26年までに第4期よりも133人増やすことが容易に読み取れるのに、燕市の計画書では、その数字が見当たらないことである。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p>・燕市民が知りたいことは『第5期介護保険事業計画』で、何人の特養待ちが解消されるのかであって、たとえば何人“成人歯科検診”を受けたかではないと思うがいかがか。</p> <p>2. <u>特養を作らないならせめて夜間対応型訪問介護サービスが必須と思うが</u></p> <p>燕市は『第5期介護保険事業計画』中で、国のいう「地域包括ケアシステムの確立」を基本理念とし、一層の推進をはかるとしながら、第5期の事業として地域包括ケアシステムの核とすべき夜間対応型訪問介護サービスが見当たらないのである。</p> <p>一方、君津市の計画書には、夜間対応型訪問介護について「第4期介護保険事業計画に基づき平成23年6月に1事業所が設置された」と書き、第5期の平成24年には50人、25年には100人、26年には140人の利用者を見込んで書いているのである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養を作るのがそんなに「お嫌」なら、せめて夜間対応型訪問介護サービスを実施すべきと思うがいかがか。 ・夜間対応型訪問介護サービスを実施することが特養待ちを減らす早道と思うがいかがか。 <p>3. <u>市が、もろもろの事業計画を策定する際の市議会との対応の仕方とパブリックコメントについて</u></p> <p>2月20日開催の市民厚生常任委員協議会でも申し上げ、市長からも了承してもらったことであるが、とかく煩雑で難解な計画書は、せめて市民から意見公募をする段階、いわゆる（素案）の段階で議会（少なくともその事業に係わる常任委員会）に呈示してほしいものである。</p> <p>また、同委員協議会で市長は「急いだから」と言い訳されたが、たとえば「介護手当の減額分はどこに配分されるのか」を市に問うたら「市政全般に係わることだから議会で問うてくれ」と、肝心の数字を教えてもらえなかったことをインターネットで発信している議員がいることなどから、そこに太古から官衙<small>かんが</small>の中で生きながらえてきた「してやる、くれてやる」の黴菌<small>ばいきん</small>のうごめきが感じられてならないのである。</p> <p>ところで（素案）を市民からの意見公募をして後、（案）として市議会にはかるといふ順序についての云々は、さておいて、三条市のホームページに「平成24年1月13日（金）から1月27日（金）まで実施した高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（案）についてのパブリックコメントに対して、3件（2人）の意見をいただきました。三条市パブリックコメント要綱に基づきコメントの要旨と市の考えを公表します」というのが出ていたが…。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燕市では何人から何件の意見があったのか。そして、それらの意見がどのように計画書に反映されたのか、をお尋ねしたい。 <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿部 健二	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらく燕市も意見応募した人が少なかったであろうに、それを以て第5期介護保険事業計画の影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることで“よりよい行政を目指す”パブリックコメントだ〜とすることに疑念するのであるがいかがか。 ・その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることで“よりよい行政を目指す”ために「介護手当の減額」についてのパブリックコメントが必要ではないか。 <p>4. 国道116号バイパス案も霧散し、農振除外への厚い壁で合併当初うたわれていた新庁舎周辺の新たなまちづくりの烽火は消えたやに見えるが。</p> <p>かつての『新庁舎建設基本構想』には、新庁舎位置は「一般国道116号吉田バイパス予想法線に近接し、周囲が農地で広がりもあることから周辺への公共施設の集積を検討するにふさわしく、商業店舗開発も大いに見込まれます」と賑々しく書かれ、新庁舎建設推進派も声高にそれを唱え、もはや郊外型開発の時代ではなくコンパクトシティの時代だという訴えには全く耳を貸そうともしなかった。</p> <p>が、今の『新庁舎建設基本計画』には、周辺土地利用のことについて数行書かれているのみで「新たなまちづくり」については少しも触れていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは『新庁舎建設基本構想』で“新たなまちづくり”の大風呂敷が広げられた時点では、新庁舎周辺の土地の農振除外の可能性があったが、今はその可能性がなくなったから〜なのか。
16	丸山 吉朗	<p>1. 公共施設料金の見直しについて</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 交通公園、各体育関連施設、文化関連施設あるいは各無料施設等の利用料金の思いきった見直しを行う考えはないか。 (2) 燕市全体の公共施設料金をUPした場合のシミュレーションをされたことがあるか。またシミュレーションをする考えはあるか。 <p>2. 保育園・小学校・中学校の統合について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 少子高齢化が現実になっている現在、燕市全体の保育園・小学校・中学校の統合をシミュレーションされているか、もしシミュレーションされているのであれば公表する考えはないか。 (2) 保育園・小学校の統合については問題がいくつかあると思われるが、一番先に乗り越えなければならない問題はなんだと考えられているか。 <p>3. 有料広告募集について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報つばめ2月1日号に市名入り封筒、燕市ホームページ、広報つばめ等への有料広告の募集記事があり、非常に良いアイデアだと思うが、対象を広げる考えはあるか。またどの程度まで広げる考えか。たとえば、運動スポーツ施設、体育施設、文化施設等は考えられないか。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	丸山吉朗	<p>4. 新庁舎周辺の開発について</p> <p>(1) 国土交通省は環境配慮型の都市づくりを後押しする法案を提出する記事（平成24年1月8日日本経済新聞）があり、施設を半径1km程度の地区に集めた都市でコンパクトシティを目指すとあります。人口の減少で市街地の空洞化が進む地方都市・東日本大震災の被災地などが候補とあります。都市計画マスタープランもあるが新庁舎周辺の開発を含めた新プランを企画する考えはないか。</p>
17	土田昇	<p>1. 原発問題について</p> <p>(1) 現在の原発が非常に危険なものであることは、今回の福島第一原発の事故を通して多くの国民の方々がこのまま原発を続けてよいのかと大きな疑問を持っているし、原発の縮小や廃止を求める声が大きくなってきていると思います。</p> <p>原発導入以後、長い間「安全神話」が振りまかれてスリーマイル島の事故やチェルノブイリの事故があっても日本の原発は大丈夫だと信じていたと思います。その結果、福島第一原発は大きな事故になったと思いますが、原発の安全性についての市長の認識について伺います。</p> <p>(2) 福島第一原発の事故で、福島県は県内すべての原子炉を廃炉にして「原発ゼロ」を国に強く求めています。新潟県内でも「原発ゼロ」の世論が大きく広がってきていますが、新潟日報の世論調査では「今後原発の利用をどのようにすべきか」の問いに対して「早くなくすべき」12.2%、「順次減らしながら最終的になくすべき」42.7%で合計54.9%が原発ゼロを求める結果となっています。</p> <p>朝日新聞でも原発反対が57%、賛成が30%であります。現在の世論調査の結果についての市長の認識について伺います。</p> <p>(3) 新聞報道によれば全国の商用炉54基のうち、稼働が続く東京電力柏崎刈羽原発6号機は3月26日、北海道電力泊3号機も4月下旬に定検に入る。東電福島第一原発事故の影響で定検を終えた原発を再稼働できる見通しはなく、日本のすべての原発が停止する事態は避けられないとしています。</p> <p>福井県は、福島の事故を踏まえた新たな安全基準を、国が示さなければ再稼働を認めないと断言していますが、柏崎刈羽原発30キロ圏内の市長の認識について伺います。</p> <p>(4) 安定ヨウ素剤を5キロ圏域を30キロ圏域まで広げることが検討されているが、燕市としての対処について伺う。</p> <p>2. 再生可能エネルギーの対応について</p> <p>(1) 吉田南最終処分場で太陽光発電が計画されているが、一般の公共施設に拡大する考えがあるか伺う。</p> <p>3. 介護保険の現状と今後の対応について</p> <p>(1) 1月26日の資料について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山町の市有地の内容・吉田旭町の保育所の内容・吉田第2デイサービスセンターひまわりの園の内容 <p>(2) 特養の40床増床の内容について伺います。</p>